

▼ポテリジオ点滴静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】モガムリズマブ（遺伝子組換え） mogamulizumab (genetical recombination) 【分類】抗悪性腫瘍剤 [ヒト化抗CCR4モノクローナル抗体]

【単位】▼20mg/V [5mL]

【常用量】1回1mg/kgを1週間間隔で8回投与

【用法】■必要量を200～250mLの生食に添加し、2hrかけて点滴静注■Infusion reactionを軽減させるために、投与30分までに抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等の前投与を行う

【透析患者への投与方法】不明 (1)

【保存期CKD患者への投与方法】データはないが、体内動態への影響は小さいと推測 (1)

【特徴】CCケモカイン受容体4を標的とした抗体製剤。ATL患者の90%にCCR4が発現しており、ADCC活性を高め、単剤での効果も確認されている。

【主な副作用・毒性】SJS・TEN、リンパ球減少、投与時遅延反応、発熱、悪寒、白血球減少、間質性肺炎、皮疹、肝機能障害、頻脈、血圧上昇、頭痛など

【代謝】検討されていないが、ペプチドやアミノ酸に分解されると推定 (1)

【排泄】検討されていないが、未変化体としては排泄されないとされる (1) 【CL】約0.2mL/hr/kg [iv] (1)

【t1/2】422hr (1)

【蛋白結合率】結合しない (1)

【Vd】0.1L/kg (1)

【MW】約149000

【透析性】資料なし (1) 分子量が大きく透析されないとされる (5)

【O/W係数】資料なし (1)

【備考】中和抗体の産生が報告されている (1)

【更新日】20171219

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。